

# 千年の森便り No.109

2012.10.25

ちば千年の森をつくる会

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~toyofusajima/>

事務局長 伊藤道男

sennennomori@hotmail.co.jp

## 活動の記録

9月25日(火) 臨時活動日 曇 参加4名; 新井(通)、坂本(文)、真鍋、宍

○クロムヨウラン調査; クロムヨウラン調査地、保護柵外の毎木調査を実施しました。調査地にはナカグロモリノカサなどのキノコが沢山ありました。アカヤマドリ、テングタケの仲間もあちこちに。(真鍋)

10月8日(月) 臨時活動日 晴 参加4名; 栗山、福島、真鍋、宍

○クロムヨウラン調査; クロムヨウラン調査地の毎木調査を実施し、保護柵外の調査を終了しました。

○植物観察; 昨秋咲き終えたクロヤツシロランの株が多数あった巨木林とホテイ岬で丹念に花を探しましたが見出せません。アキノギンリョウソウが2か所に咲いていて6年ぶりに花の撮影が出来ました。(真鍋)

○キノコ観察; きのこが沢山ありました。特にイグチ類が多数発生していました。次頁のリストに記録しました。(福島)



アキノギンリョウソウ 10/8 福島

## ○野鳥観察

エナガ 3+ V、シジュウカラ 1+ V、ヤマガラ 1+ V、メジロ call、トビ 1+ V、

アカゲラ 1 V ☆また出ました! \*広場で中型ケラのケツケツという call が聞こえており、探したところ姿を確認できました。昨年11月17日に続き2度目の確認です。南総では個体数は少ないそうです。(福島)

10月13日(土) 晴 松田弘義会員はキノコ観察会の下見をしました。

この夏の異常気象(高温、降雨なし)が長く、菌糸の発育が不全であったせいか、未だ“夏のキノコ”が残り“秋のキノコ”も出遅れして、混在しております。サクラシメジ、ウラベニホテイシメジ、クサウラベニタケは観察できませんでした。コウタケ、バカマツタケもまだですが、ホウキタケの仲間2、3種は大量の発生を観察しました。観察したキノコは次頁に記録の通りです。キノコの発生は、あたかも回り舞台を見るように、日を追って変わります。21日本番のきのこに期待しています。(松田)

10月16日(火) 晴 坂本文雄会員は野鳥調査、キノコ観察、センサーカメラメモリー交換を行いました。

## ○きのこ観察

ベニタケ科とフウセンタケ科、ホウキタケの仲間が目立ちました。テングタケ科イグチ科は最盛期が終わったようです。バカマツタケは禁断岬方面には無くて、ホテイ岬に行く途中に2本だけ出ていました。コウタケ、サクラシメジは見当たらず、ウラベニホテイシメジは幼菌が出始めたところでした。尚、近くの別の山ではコウタケ、サクラシメジ、ウラベニホテイシメジともそこそこ出ていました。

## ○野鳥観察

吊り橋の上でエナガの群れに出会ったので、急いで数えたら15羽いました。ヤマガラ、シジュウカラ、メジロも一緒に行動していましたので、冬の混群ができる時期になったようです。

8日に福島さんが確認したアカゲラは今回出ませんでした。今月の確認種はいまのところ12種です。(坂本文)



タマゴタケ 10/8 福島



アカヤマドリ 10/8 栗山



ハナホウキタケ 10/8 栗山



ベニチャワンタケ 10/8 宍

10月8日～16日豊英島で観察されたキノコ（二重下線は目録未記載種）

科	10月8日(福島、宍、栗山)	10月13日(松田)	10月16日(坂本)
アンズタケ科	クロラッパタケ、ヒナアンズタケ、 <u>トキイロラッパタケ</u> 、	<u>トキイロラッパタケ</u> 、	クロラッパタケ <u>トキイロラッパタケ</u>
ラッパタケ科	フジウスタケ、	フジウスタケ	
フサヒメホウキタケ科	フサヒメホウキタケ		
ホウキタケ科		ハナホウキタケ、ホウキタケ属	ホウキタケの仲間数種
イボタケ科		ケロウジ	ケロウジ
タコウキン科		カワラタケ、ツヤウチワタケ、ヒイロタケ、 <u>ヒトクチタケ</u>	
ヌメリガサ科		アカヤマタケ属	
キシメジ科	ハタケシメジ? ツエタケ サクラタケ	ミネシメジ、ツエタケ、	ミネシメジ、 <u>ヒメカバイロタケ</u> ツエタケ、ナラタケモドキ
テングタケ科	テングタケ、タマゴタケ、コテングタケモドキ、テングタケの仲間数種、	タマゴタケ、コテングタケモドキ、シロオニタケ、ドクツルタケ、シロテングタケ、オオツルタケ、テングタケ	テングタケ、タマゴタケ、コテングタケモドキ、シロオニタケ、ツルタケ
ハラタケ科	カラカサタケ、ザラエノハラタケ、シロヒメカラカサタケ	ザラエノハラタケ、ウスキモリノカサ、 <u>キツネノカラカサ</u> 、	オニタケ、 <u>ナカグロモリノカサ</u>
ヒトヨタケ科	ミヤマザラミノヒトヨタケ、		ヒトヨタケの仲間
モエギタケ科	ニガクリタケ、		
フウセンタケ科	フウセンタケの仲間、	フウセンタケ属	フウセンタケの仲間数種
イッポンシメジ科		<u>ヒメコンイロイッポンシメジ</u>	クサウラベニタケ、ウラベニホテイシメジ
ヒダハタケ科		ニワタケ	
イグチ科	ホオベニシロアシイグチ? キイロイグチ、ニガイグチ? <u>クリイロイグチ</u> ニセアシベニイグチ、アカヤマドリ、アワタケ? ヤマドリタケモドキ? 他イグチの仲間数種	<u>ブドウニガイグチ</u> 、ニセアシベニイグチ、 <u>コゲチャイロガワリ</u> 、アメリカウラベニイロガワリ、ミドリニガイグチ、アカヤマドリ、 <u>コガネイグチ</u> 、キイロイグチ、オニイグチモドキ、不明種	アカヤマドリ、オニイグチの仲間
ベニタケ科	クロハツモドキ?	ウコンハツ、ドクベニタケ、キチチタケ、ドクベニタケ、カワリハツ、ハツタケ、ベニタケ属、	ウコンハツ クロハツモドキ? オキナクサハツ、ヤブレベニタケ、その他不明種多し
ホコリタケ科	ノウタケ、	ノウタケ、ホコリタケ	
ベニチャワンタケ科	ベニチャワンタケ		

10月21日(日曜日)快晴 秋のキノコ観察会 新井(通)、伊藤、鶴沢、久我夫妻、栗山、坂本(文)、中田夫妻と5人の子供たち、根本、福島、降幡、松田、真鍋、宍、村野、山口の会員17+5名。更に座間の上田さん、千葉の森さんが参加され総勢24名。群生する沢山のキノコにあちこちから感嘆の声が上がり、午後は松田講師の解説に質問と笑い、秋晴れとキノコに恵まれて観察会は大盛況でした。採れたコウタケ、ウラベニホテイシメジ、バカマツタケを山分けしてお土産にいただき、夕食にも豊英島の秋を味わいました。バカマツタケご飯の香りは抜群!!ご馳走様。(真鍋)



キノコの山を囲んで全員集合



ウラベニホテイシメジ採りに興じる子供たち



面白いキノコのお話に聴き入る

### ○キノコ観察記

今年是全国的に、夏は異常高温に加え雨が降らず、10月入っても、未だ「夏のキノコ」が生えており、前の週あたりからようやく「秋のきのこ」の発生がみられるようになりました。豊英島でも事情は同じで、「夏のキノコ」のテングタケ科のキノコは多く観察できましたが、さすがにイグチ科はなくなりました。

「秋のキノコ」で、例年豊作のサクラシメジは不作、バカマツタケ、コウタケ、ウラベニホテイシメジは平年作かと思われます。



バカマツタケ 10/21 福島

自生地は急斜面の苔むす岩場



コウタケ 10/21 坂本

千年広場脇に初の大群生



ウラベニホテイシメジ 10/21 福島

環をつくってコナラを取り囲み



キンチャワンタケ 10/21 栗山

鮮やかな黄色の群生が

観察会は、松田班、坂本班、村野班に分かれ採取し、広場にキノコを集めて、松田、坂本、村野の3人で同定し、最後に松田が講評する方式で行いました。採ったキノコの美味しい食べ方も、皆さんで発表しあいました。観察したキノコは次の通りです。その他、不明種を含めると80種に近いキノコを観察することが出来ました。当日明記出来なかったもの、後日精査し名づけたもの、種名訂正のものも含まれます。(松田)

### 10月21日に観察したキノコ(二重下線は目録未記載種)

科	種
アンズタケ科	ヒナアンズタケ・クロラッパタケ
ラッパタケ科	フジウスタケ
ホウキタケ科	ハナホウキタケ・ホウキタケの仲間
イボタケ科	コウタケ・クロカワ・ケロウジ・ <u>マツシシタケ</u>
ニンギョウタケモドキ科	アオロウジ
タコウキン科	カワラタケ・ツヤウチワタケ・ウチワタケ・ <u>オシロイタケ</u> ・コフキサルノコシカケ・キアシグロタケ
ヒラタケ科	<u>ケガワタケ</u>

ヌメリガサ科	サクラシメジ・アカヤマタケ属
キシメジ科	バカマツタケ・ <u>ウラムラサキシメジ</u> ・ <u>アイシメジ</u> ・ミネシメジ・ナラタケ(広義)・チシオタケ・クヌギタケの仲間、ツエタケ・ヒメカバイロタケ・ホウライタケ属・ <u>ヒョウモンクロシメジ</u> ・アオイヌシメジ
テングタケ科	ツルタケ・ミヤマタマゴタケ・コテングタケモドキ・ガンタケ・カブラテングタケ・テングタケ・オオツルタケ・シロオニタケ・テングタケ属
ハラタケ科	ザラエノハラタケ・ <u>ナカグロモリノカサ</u>
ヒトヨタケ科	ナヨタケ属
モエギタケ科	ニガクリタケ
フウセンタケ科	キンチャフウセンタケ・キヒダフウセンタケ・オニフウセンタケ(黒型)・フウセンタケ属
イッポンシメジ科	ウラベニホテイシメジ・クサウラベニタケ
ベニタケ科	クロハツ・クロハツモドキ・オキナクサハツ・ <u>ケシヨウハツ</u> ・カワリハツの仲間・ベニタケ属・トビチャチタケ・ <u>ツチカブリ</u> ・キチチタケ・チチタケ属
ヒメツチグリ科	<u>ヒナツチガキ</u>
ホコリタケ科	<u>ノウタケ</u> ・ <u>ホコリタケ</u>
シロソウメンタケ科	シロソウメンタケの仲間
ニセシヨウロ科	<u>ニセシヨウロ</u>
クロチャワンタケ科	<u>オオゴムタケ</u>
ベニチャワンタケ科	<u>ベニチャワンタケ</u> <u>ヒロチャワンタケ</u>
ピロネマキン科	キンチャワンタケ

(種名のわかった種: 合計57種、内豊英島きのこ目録未記載種: 15種)  
豊英島のきのこ観察会は最高でした

10月21日の観察会は最高でした。昼のお味噌汁！取れたばかりのシイタケ、サクラシメジ、良い出汁が出ていて絶妙な味付け、今まで食したなかでナンバー1でした。また、会員のためにご用意していただき、本当に感動しました。また、ご馳走になりたい。できれば、豊英で一泊、面白いけど、役員の方々が大変ですね。

今年はこの観察会を見ても、少し茸の発生が少し遅れているようです。千葉菌の市原観察会でも、夏の茸が全盛状態でした。ということは、豊英島の観察会は何かがおこる、という期待が高まり、前日は、一睡もできませんでした。(実は爆睡…笑い)

皆さんもご承知の通り、コウタケ、ウラベニホテイシメジ、ホウキタケ属が爆発でした。例年、コウタケは前週位に群生し、翌週には流れている、というパターンですが、なんと会員の皆様のように若々しい。バカマツタケも福島さんらにより採取していただき、爆発でよろしいですね福島さん？

ところで、一番多く質問されたのが、コウタケ、ウラベニホテイシメジの料理法でした。コウタケは若い物であれば、そのままんぷら(やったことはなく人から聞いた)、私としては、薄切りにして一旦、カラカラになるまで干し、水で30分間位戻し(戻し汁は捨てる)鶏肉などを合わせて、炊き込みご飯が良いかなと思います。もち米とうるち米を半々位でもちもち！食べる時には贅沢にバターを少々。パスタではトマトソースに合わしても最高です。ウラベニホテイシメジは、熱湯で一旦湯がき、鍋物や佃煮なども美味しいです。ホウキタケ属では柄の太いものであれば、甘辛に煮付けて、今食べました。美味しい。もう1時間位ですが変化無し(笑)。ウラベニホテイシメジは生でかじって苦いのが本物ですよ。クサウラベニタケは苦くない。これで中毒ゼロですね。私は茸中毒ですけど……。

とにかく、「素晴らしい」の一言でした。豊英島。みんなで守りましょう。本当に、役員の方々には大変にお世話になりました。松田さんには同定、本当にお疲れ様でした。一番、気を使う役目だと思います。これからは茸の無い時期になりますが、ユーチューブで「バカマツタケ」と検索していただくと、私が動画でアップしたものが出てきますので、どうかご覧いただければと思います。(降幡)

## キノコの世界は楽しい

皆さんが採取した色々なキノコが並んでいるのを見て、秋はキノコの季節だと改めて感じました。

入会して初めて野外のキノコを食べることに挑戦しました、前回のタマゴタケはソテーして、今回のバカマツタケとウラベニホテイシメジはマツタケご飯にして美味しくいただきました。コウタケなど一目見て食べられそうにも無いキノコはこんなに美味しいのだと知りました。

キノコの世界は楽しいですね。(必)

**○クロヤツシロラン探し** 座間市の上田さんは遠路電車とバスを乗り継いで、クロヤツシロランの花探しに参加され、キノコ観察の合間に、落葉をめくって探しましたが、見つからず残念でした。来年も希望をつないでクロヤツシロラン探しに来られるそうです。5年目の花探しに期待し、一緒に探しましょう。(真鍋)

**○マムシがいました** この観察中に祠山の近くで新井さんがマムシに出会いました。彼女にとっては島内で3度目の遭遇だそうです。捕獲はしていませんので、今後の活動には注意が必要です。(坂本文)

**○秋の味覚** 今回のキノコ観察会では、真鍋さんから「サクラシメジと自家製野菜入りの味噌汁」を、山口さんからは「栗の渋皮煮」を、久我さんからは「柿」を差し入れていただきました。いずれも秋ならではの味を堪能しました。ご馳走様でした。(参加者一同)

## お知らせ

**○観察会のご案内** 10月27日(土)10時から里山センターで「京葉臨海埋め立て地の緑化と生物多様性」が開催されます。午前中が中央博物館中村俊彦副館長の講演、午後からは、植物、昆虫、野鳥など分野別の観察会で、本会の新井通子さんが植物部門の講師を務めます。ぜひご参加ください。40年経過した埋め立て地の自然の豊かさに驚くこと請け合いです。問い合わせは伊藤 090-6929-6811 まで。(伊藤)

**○11月定例活動日** 11月18日(日)秋の自然観察会(内部行事) 日頃から植物を中心に豊英島の自然の記録に取り組まれている栗山会員がご案内します。内部行事として、じっくりと秋の豊英島の自然を堪能したいと思います。遊歩道周辺の危険木の確認、伐採も実施。県民の森木のふるさと館駐車場9:30分集合。